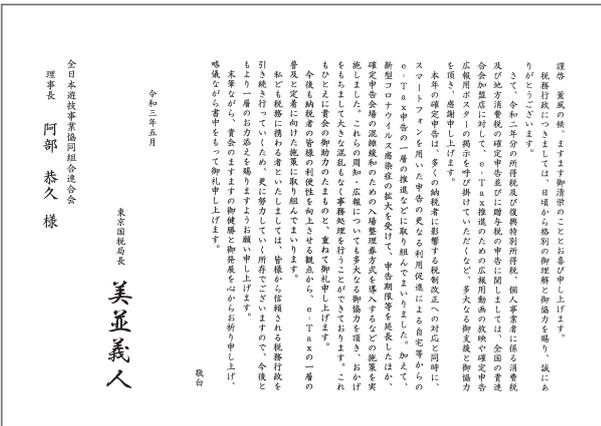


「確定申告に関する広報依頼」への協力に対し東京国税局から全日遊連に礼状が届きました

国税庁より全日遊連に対し、ホールに来られるお客様に向けた確定申告の情報周知についての広報依頼（遊報2月号に掲載）があり、全日遊連ではこれに協力することとし、全国の組合員ホールにおいて、告知ポスターの掲示、またデジタルサイネージや店内モニター・スクリーン等でのテレビCMの放映を積極的にご協力いただきました。

この度、美並義人東京国税局長から全日遊連阿部恭久理事長に対し、礼状が届きましたので、本号に掲載いたします。

今後全日遊連では、この取組に協力してまいります。組合員ホールの皆様のご協力をお願いいたします。



東京国税局長からの礼状

全日遊遊技事業協同組合連合会
理事長 阿部 恭久 様
東京国税局長 美並義人
令和三年五月

各県トピックス

大遊協国際交流・援助・研究協会が外国人留学生に奨学金を交付

公益財団法人大遊協国際交流・援助・研究協会（大遊協財団、上浦文雄理事長）は2021年4月7日、「令和3年度年度外国人留学生奨学金受給証書交付式」を開催した。

大遊協財団は大阪府内で居住しかつ活動する外国人に対する国際交流事業、犯罪・事故被害防止の啓発事業等の推進並びに大阪府内に居住し、かつ大阪府内の大学に通学する留学生に対する奨学金支援事業等を行い、もって国際交流の推進と国際都市大阪の発展に寄与することを目的に、大阪府遊技業協同組合（平川谷志理理事長）の社会貢献事業のひとつとして設立された。

事業の柱となる奨学金交付事業は府下の大学に在籍する外国人留学生を対象としており、今年度は6カ国14大学の学生21名（新規7名と継続14名）への奨学金受給を決定し、交付式当日は上浦理事長より新規・継続それぞれの代表者に受給証書が手渡された。

財団は今年7月で満30年を迎えるが、これまでの奨学金受給者は、今年の新規7名を加えて実人員で414名、延べ920名（26カ国・地域、39大学）となる。式典は新型コロナウイルス対策として、必要最小限の規模にして、感

染対策には最大限の配慮が行われた上で開かれた。受給証書の交付の後、挨拶に立った上浦理事長は、「コロナ禍において人の往来が制限される中、母国に帰ることができず、慣れない日本の生活にも苦勞している留学生が多いのでは。我々は皆様が事故や犯罪に巻き込まれないための相談等も行っていますので頼ってほしい。」と述べ、このような時期であるからこそ、大学生活や日常生活に真摯に取り組み、留学の初期の目的を達成していただきたいと激励した。

続いて来賓として列席した大阪府の播本裕典国際交流監は、大遊協財団がこれまでの30年間、国際交流の発展に寄与してきた尽力に敬意を表した。大阪府では今後更なる成長を担うグローバル人材獲得に向け、留学生たちが卒業後も大阪で住み、そして働けるよう就職支援を行っている。播本国際交流監はコロナ禍によって学業含め日々の大きな制約がある生活ではあるが、健康には十分気をつけ、留学生生活が有意義になるよう願った。

最後にドイツ出身の奨学生代表者から、「奨学金のおかげで学業に専念することができました。夢を実現する為がんばっていききたい。」との謝辞が述べられた。



奨学金受給証書交付式の模様



福島県遊連が福島県、 福島県警察本部と 「災害時における 支援協力に関する協定」を締結

福島県遊技業協同組合連合会（諸田英模理事長）は、2021年4月21日（水）福島県、福島県警察本部と「災害時における支援協力に関する協定」を締結した。

本協定は、東日本大震災から10年が経過しているなか県内には未だ多くの帰宅困難地域の避難者があること、震災以降も大規模災害が発生していることから同県遊連から提案したもので、

協定に基づき、災害発生時に一時避難のための組合員ホール駐車場の提供、帰宅困難者への水、トイレ（店舗によっては防災備蓄品を含む）の提供を行う。また、災害救助活動を行う警察、消防、自衛隊等の活動拠点としてホール駐車場棟を提供する。

当日の協定書締結式は、福島県危機管理部長、福島県警察本部警備部長、同県遊連諸田理事長が出席し、協定書を手交した。



協定締結式の模様



災害支援協力 協定締結店

- 当店は「災害支援協力協定締結店」です。
- 大規模災害時は、福島県、福島県警察の要請により、避難者への駐車場やトイレ、飲料水、災害情報の提供、災害救助活動拠点等として提供します。

福島県 警察本部
福島県 危機管理部長
福島県遊技業協同組合連合会

佐賀県遊協が佐賀県と 「災害発生時に おける協定」を締結

佐賀県遊技業協同組合（新富和紀理事長）は、2021年4月13日（火）、佐賀県と災害時等に佐賀県遊協加盟の組合員店舗の駐車場を付近住民の一時避難場所として使用する等の災害協定を締結した。

本協定に基づき、災害時及び災害が発生するおそれがある場合において、「地域住民の自家用車等の一時避難場所」や「実働部隊の駐車場」として、可能な限り組合員ホール駐車場を提供するなどの協力を行うもの。

当日の協定書締結式には、佐賀県側からは山口祥義佐賀県知事、同県危機管理報道局長、危機管理防災課長、同県遊協側からは新富理事長、野中伸一副理事長、森永章副理事長が出席し、山口知事と新富理事長が協定書に署名し、災害協定が締結された。



協定締結式の模様

パチンコ・パチスロ 依存問題フォーラム

動画配信中

パチンコ・パチスロ産業 21 世紀会

「遊び」の
バランスは
大切です。

